



NEWS

No.06

2017.3



「福岡女子大学 女性トップリーダー育成研修」
平成29年2月2日～4日、3月9日

目次

■ 理事長・学長あいさつ	2
■ 地域連携センター長・地域交流部門長あいさつ	2
■ 副センター長・女性生涯学習研究部門長あいさつ	2
■ 産学官地域連携部門長あいさつ	2
..... 平成28年度事業報告	

❀ 地域交流部門 ❀

● 出前講義等	3
● 教員免許状更新講習	4
● 他機関との連携	5
● 地域との交流、イベントへの参加	6
● 本学主催イベント	7

❀ 産学官地域連携部門 ❀

● 開催した講演会・セミナー	8
● 参加した展示会・その他	10
● 連携協定	11
● 共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況	11

❀ 女性生涯学習研究部門 ❀

● 公開講座・講演会一覧	12
● 公開講座	13
● 女性トップリーダー育成研修・特別講演会	14
● 生涯学習カレッジ2016	15
● 福岡女子大学基金 学術研究助成金	15
● 平成29年度公開講座のご案内	16

ごあいさつ

地域の皆様と共に活動できる大学へ

理事長・学長 梶山 千里

1923年の福岡県立女子専門学校開校から掲げてきた建学の精神「次代の女性リーダーを育成」を目標として教育・人材育成の成果を引き継ぎ、伝統校の誇りを継続しながら「+α」の大学を目指してきました。ここ数年、福岡女子大学は目覚ましい変革を遂げています。2011年以来、オープンキャンパスの参加者数と取材・報道数の著しい増加、体験学習を始めとする授業内容の充実、外部資金獲得数と額の増加、女子大美術館の新設とそれを使った「感性学習」のスタート、キャンパス再整備等、福岡女子大学は教育の質＝「大学力」と「知名度」で目覚しく進化しています。これからも、地域社会に開かれた大学として努力してまいりますので本学の地域貢献活動にご関心をお持ちになりましたら、ぜひ、お気軽にお問い合わせください。地域の皆様と一緒に活動できることを願っております。



社会・地域と大学の双方向交流の更なる構築を目指して

地域連携センター長・地域交流部門長

国際文理学部 環境科学科 教授 田村 典明

福岡県の公立大学として地域に育まれ発展してきた福岡女子大学にとって、社会・地域連携は、教育、研究と並ぶ本学が果たすべき3つ目の重要な柱です。地域連携センターは、ライフステージに応じた学びを提供する「女性生涯学習研究部門」、地域文化の振興や地域社会の発展に寄与する活動を行う「地域交流部門」、企業・公的研究機関との関係強化による研究・教育の活性化を目指す「産学官地域連携部門」の3部門で構成されており、社会・地域連携を推進しています。

地域交流部門では、地域をフィールドとした教育・研究活動、地域の自治体や学校等の諸団体の事業への協力など、学生・教職員による多様な社会・地域連携活動を行っています。社会・地域連携に関する相談、提案を当センターまでお気軽にお寄せいただきますようお願いいたします。



女性生涯学習研究部門の役割

副センター長・女性生涯学習研究部門長

副学長・国際文理学部 体験学習担当 教授 野依 智子

女性生涯学習研究部門では、一般の方を対象にした公開講座や講演会の企画実施、社会人女性を対象にした研修の開催、女子大の基金を活用した学術研究助成などを担当しています。

このうち2016年度に実施したイベントの一つが、本学、同窓会筑紫海会、韓国文学翻訳院の共催により開催した、日本の女性作家東直子氏と、韓国の女性作家金仁淑氏、千雲寧氏によるトークイベント「日本と韓国の女性作家はいま」です。福岡市中心部で開催したため、卒業生だけでなくテーマに惹かれた一般の方の参加も多く、広く市民の生涯学習に貢献しました。

また、学術研究助成は、応募数が増加しており、2016年度は大学院生だけでなく本学の社会人女性対象講座の修了生からの応募もあり、院生・社会人の研究活動支援として期待されています。

今後も女性生涯学習研究部門では、学内外の女性、さらには一般の方の人材育成や生涯学習を推進してまいります。



地域と密着した産学官連携活動を目指して

産学官地域連携部門長

国際文理学部 食・健康学科 准教授 石川 洋哉

本部門では、各種講演会の開催、「リサーチコア」の推進などを中心に活動を行っています。リサーチコアは、現在6プロジェクトが進行しており、各分野で着実な成果を挙げています。昨年11月には、リサーチコアの「食」関連テーマで産学官各方面の講師を招き、「食でつくる高齢者の健康～高齢者向け食品のこれからを考える～」と題した産学官技術交流会を開催しました。福岡県内の企業・地域住民の方々を含め87名の方々に参加頂きました。本講演会では、今後の超高齢化社会に向けた食の課題について、活発な意見交換を行うことが出来ました。次年度も、社会のニーズに応じて様々な活動を行っていき、地域社会に貢献していきたいと考えています。今後ともご協力を宜しくお願い致します。

地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にしております。同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と地域ニーズのマッチング等の事業を展開することで、地域の活性化に寄与してまいります。

❀ 出前講義等

1. 出前講義

※ 同じ開催日、学校でも受講生が異なる場合は2回記載しています。

No.	開催日	学校名	学年	人数	教員名	内容
1	2016年 6月10日(金)	福岡工業大学附属城東高等学校	1～3	2,040	岡山 俊直 准教授	気候変動～京都議定書からパリ協定へ
2	2016年 6月30日(木)	福岡県立八幡南高等学校	1	17	村長 祥子 准教授	英語の歴史ーなぜ「5文型」が大事なのか
3	2016年 6月30日(木)	福岡県立八幡南高等学校	2	14	村長 祥子 准教授	英語の歴史ーなぜ「5文型」が大事なのか
4	2016年 7月14日(木)	佐賀県立武雄高等学校	1	27	和栗 百恵 准教授	4000億分の1をどう生きる？
5	2016年 7月14日(木)	佐賀県立武雄高等学校	2	30	和栗 百恵 准教授	4000億分の1をどう生きる？
6	2016年 8月 1日(月)	八女学院高等学校	1～3	11	張 艶 准教授	アジアにおける日本の役割
7	2016年 8月23日(火)	福岡県立育徳館高等学校	2	27	坂本 浩一 准教授	日本語とコミュニケーション文化
8	2016年 8月30日(火)	福岡雙葉高等学校	1～3	30	小林 弘司 講師	食品の安全・安心
9	2016年 9月24日(土)	九州国際大学付属高等学校	1～2	40	向井 剛 教授	日本語と英語を比較する
10	2016年10月13日(木)	長崎県立長崎北高等学校	1～2	30	向井 剛 教授	英語のリズムとイントネーション指導
11	2016年10月13日(木)	長崎県立長崎北高等学校	1～2	30	向井 剛 教授	英語のリズムとイントネーション指導
12	2016年10月18日(火)	福岡県立博多青松高等学校	1～3	20	梅木 陽子 講師	管理栄養士の仕事とは
13	2016年10月20日(木)	福岡県立嘉穂高等学校	2	23	石川 洋哉 准教授	食品のはたらきを考える
14	2016年10月21日(金)	福岡県立門司学園高等学校	中1～高2	18	舟木 淳子 准教授	食感とおいしさ
15	2016年10月21日(金)	福岡県立門司学園高等学校	中1～高2	21	舟木 淳子 准教授	食感とおいしさ
16	2016年10月21日(金)	福岡県立門司学園高等学校	中1～高2	18	濱田 俊 教授	ビタミンのお話
17	2016年10月21日(金)	福岡県立門司学園高等学校	中1～高2	22	濱田 俊 教授	ビタミンのお話
18	2016年10月21日(金)	福岡県立門司学園高等学校	中1～高2	20	橋本 直幸 准教授	外国人はどうやって日本語を習得するのか
19	2016年10月21日(金)	福岡県立門司学園高等学校	中1～高2	28	橋本 直幸 准教授	外国人はどうやって日本語を習得するのか
20	2016年10月25日(火)	佐賀県立鳥栖高等学校	1～2	23	張 艶 准教授	アジアにおける日本の役割
21	2016年10月25日(火)	佐賀県立鳥栖高等学校	1～2	17	張 艶 准教授	アジアにおける日本の役割
22	2016年10月26日(水)	福岡県立玄洋高等学校	2	16	梅木 陽子 講師	高校生から考える食と健康
23	2016年10月27日(木)	福岡県立糸島高等学校	2	25	バスマシリ・ジャヤセーナ 准教授	国際社会における日本の役割
24	2016年11月 9日(水)	福岡県立伝習館高等学校	1～2	30	石川 洋哉 准教授	食品のはたらきを考える
25	2016年11月 9日(水)	福岡県立伝習館高等学校	1～2	32	スウェン・ホルスト 准教授	ドイツからみた日本
26	2016年11月14日(月)	福岡県立中央高等学校	2	53	中村 大輔 准教授	空間経済学による持続可能な発展
27	2016年11月14日(月)	福岡県立中央高等学校	2	71	スウェン・ホルスト 准教授	ドイツからみた日本
28	2016年11月14日(月)	福岡県立中央高等学校	2	46	猪股 伸幸 准教授	DNAから読み解く野生生物の過去・現在
29	2016年11月14日(月)	福岡県立中央高等学校	2	70	和栗 百恵 准教授	「大学で学ぶ」って何だろう？
30	2016年11月15日(火)	久留米市外三市町高等学校組合 三井中央高等学校	1	15	和栗 百恵 准教授	世界がもし100人の村だったら
31	2016年11月19日(土)	久留米信愛女学院高等学校	2	20	バスマシリ・ジャヤセーナ 准教授	国際社会における日本の役割
32	2016年12月20日(火)	筑紫女学園高等学校	1,2	35	和栗 百恵 准教授	4000億分の1をどう生きる？
33	2017年 1月27日(金)	福岡県立八幡高等学校	2	39	吉村 利夫 教授	紙おむつを化学の目で観る
34	2017年 1月27日(金)	福岡県立八幡高等学校	2	39	吉村 利夫 教授	紙おむつを化学の目で観る
35	2017年 1月27日(金)	福岡県立八幡高等学校	2	39	村長 祥子 准教授	英語のなかの外来語
36	2017年 1月27日(金)	福岡県立八幡高等学校	2	39	村長 祥子 准教授	英語のなかの外来語
37	2017年 3月 4日(土)	福岡県立香住丘高等学校	2	32	村長 祥子 准教授	英語のなかの外来語
38	2017年 3月 8日(水)	福岡雙葉高等学校	2	19	長野 真弓 教授	からだを動かさないこと(身体不活動)は命に関わる？！
39	2017年 3月16日(木)	福岡雙葉高等学校	2	56	バスマシリ・ジャヤセーナ 准教授	国際社会における日本の役割



城香フェスタ (P4)



職場体験学習(香椎第1中)(P4)



職場体験学習(香椎第2中)(P4)

地域交流部門

2. スーパーサイエンスハイスクール

●福岡県立香住丘高等学校

No.	実施日	学年	人数	教員名	内 容
1	4月27日(水)	2	40	山田真知子 教授・松尾 亮太 准教授 佐藤 一紀 教授・池田 宜弘 教授	実験Ⅰ・Ⅱの事前指導
2	5月11日(水)	2	20	山田真知子 教授・大坪 蘭子 助 手	アサリは多量の赤潮生物を食べて海水を浄化するのに、何故、メタボにならないのか？！
3	5月11日(水)	2	20	佐藤 一紀 教授・山口 容子 助 手	ヨウ素呈色法による唾液アミラーゼ作用の測定
4	5月18日(水)	2	20	松尾 亮太 准教授・美濃部純子 助 手	ナメクジの学習行動
5	5月18日(水)	2	20	池田 宜弘 教授	表面凝固減少を調べる
6	5月25日(水)	2	40	猪股 伸幸 准教授・田村 典明 教授 馬 昌珍 教授・黒木 昌一 准教授	実験Ⅲ・Ⅳの事前指導
7	6月15日(水)	2	20	猪股 伸幸 准教授	ショウジョウバエ性比の観察
8	6月15日(水)	2	20	馬 昌珍 教授	発電モデル実験と排ガスの測定
9	6月22日(水)	2	20	田村 典明 教授・大坪 蘭子 助 手	光合成：光エネルギーによって駆動される電子の流れを調べる
10	6月22日(水)	2	20	黒木 昌一 准教授	フラクタル次元を測る

3. その他

●中学校

No.	実施日	学校名	教員名	内 容
1	8月30日(火)～ 9月1日(木)	福岡市立香椎第1中学校	田村 典明 教授・大坪 蘭子 助 手(植物細胞工学研究室) 森田 健 教授・福田 裕美 助 教(住環境学研究室) 石川 洋哉 准教授(食品学研究室)	職場体験学習 各研究室にて実験準備補助、生協Jショップ(売店)業務補助等 8月30日(火)：生協Jショップ、植物細胞工学研究室 8月31日(水)：図書館、住環境学研究室 9月1日(木)：地域連携センター、食品学研究室
2	9月7日(水)～ 9月9日(金)	福岡市立香椎第2中学校	松尾 亮太 准教授(神経科学研究室) 石川 洋哉 准教授(食品学研究室) 馬 昌珍 教授(大気環境学研究室) 宮崎 聖子 教授(文化人類学研究室)	職場体験学習 各研究室にて実験準備補助、生協Jショップ(売店)業務補助等 9月7日(水)：図書館、神経科学研究室 9月8日(木)：食品学研究室、大気環境学研究室 9月9日(金)：生協Jショップ、文化人類学研究室
3	9月17日(土)	福岡市立城香中学校	スウェン・ホルスト 准教授 馬 昌珍 教授	「城香フェスタ」で講演 「ドイツを知っていますか」 「おとなりの国、韓国の生活と文化」
4	9月17日(土)	筑紫女学園中学校	金 希京 准教授	3年生を対象に講義を実施 「多言語・多文化社会に生き残るためにー福岡と釜山市の政策比較ー」

●高等学校

No.	実施日	学校名	教員名	内 容
1	7月20日(水)	福岡県立香椎高等学校	片桐 義範 教授 食・健康学科学生	2年生が「総合的な学習」の職場訪問として、食・健康学科の講義を聴講し、学生へのインタビューを実施

●その他

No.	実施日	学校名等	教員名	内 容
1	11月21日(月)	福岡県高等学校給食研究協議会	早淵 仁美 教授	「平成28年度福岡県高等学校給食研究協議会研究発表会」において講演

❁教員免許状更新講習

教員免許更新制の免許状更新講習として、文部科学大臣の認定を受けて、選択必修領域と選択の3科目(国語、理科等、栄養)について、次のとおり開設しました。(参加者延べ301名)

1. 選択必修 時間数：6時間 実施場所：地域連携センターセミナー室

No.	実施日	タイトル	担当講師
1	8月6日(土)	あらゆる教育活動に活かす教育相談の態度と積極的傾聴(教育相談)	鈴木 有美 准教授
2	8月7日(日)	アクティブラーニングで学ぶ道徳教育(道徳教育)	森 邦昭 教授

2. 国語 時間数：6時間 実施場所：地域連携センターセミナー室

No.	実施日	タイトル	担当講師
1	8月2日(火)	「国語」教材への視点	橋本 直幸 准教授・坂本 浩一 准教授
2	8月3日(水)	「国語」教材の講読Ⅰ	月野 文子 教授・工藤 重矩 客員教授
3	8月4日(木)	「国語」教材の講読Ⅱ	今井 明 教授・大久保順子 准教授
4	8月5日(金)	境界を超える「文学」・「歴史」・「ことば」	渡邊 俊 准教授・坂口 周 講師 矢野 準 教授

3. 理科等 時間数：6時間 実施場所：研究棟

No.	実施日	タイトル	担当講師
1	8月8日(月)	生命・物質科学から環境を考える (1) 生物の環境応答	田村 典明 教授・松尾 亮太 准教授
2	8月9日(火)	生命・物質科学から環境を考える (2) 身近な環境科学	馬 昌珍 教授・山田真知子 教授
3	8月10日(水)	生命・物質科学から環境を考える (3) 化学物質の環境での機能発現	佐藤 一紀 教授・池田 宜弘 教授

4. 栄養 時間数：6時間 実施場所：地域連携センターセミナー室

No.	実施日	タイトル	担当講師
1	8月8日(月)	成長期における運動と食事の意義と実践のための基礎知識	早淵 仁美 教授・太田 雅規 教授
2	8月9日(火)	食指導に活かす栄養学的・解剖学的基礎知識	中村 強 教授・濱田 俊 教授
3	8月10日(水)	学校における食の安全確保と食品の活用法	石川 洋哉 准教授・舟木 淳子 准教授 片桐 義範 教授

他機関との連携

連携協定に基づく福津市との連携(教員)



■親子で楽しむたべもの実験教室

日 程：7月23日(土)
場 所：福岡女子大学
担 当：石川 洋哉 准教授
小林 弘司 講師
濱野 桃子 助手
山内 良子 助手

福津市と本学との共同企画により、福津市と福岡市東区の小学校5、6年生とその保護者計9組18名が参加し、「親子で楽しむたべもの実験教室」を行いました。当日は、教員や学生の指導のもと、食品の凝固剤として使われる塩化カルシウムとアルギン酸ナトリウムを使った人工いくら作成、紫キャベツから抽出した色素で他の食物の色の変化を調べる実験、ドライイーストの発酵力で風船を膨らます実験をしてもらいました。

■高校生への理系のススメ

日 程：11月 3日(木・祝)
場 所：福岡女子大学
担 当：猪股 伸幸 准教授
豊貞佳奈子 准教授



高校1～2年生を対象とした公開講座「高校生への理系のススメ」を開催し、福津市の光陵高校と福岡市の香椎高校から計17名が参加しました。前半は、ショウジョウバエの眼の色や翅の形状を双眼実体顕微鏡で観察し、後半は、「快適さ」と「節水」の両方にこだわったシャワーヘッドの開発実験を体験してもらいました。実験の後は、意見交換会が開かれ、教員や学生から、理系に進んだ理由や学生時代の体験談を話し、高校生へアドバイスしました。

■コミュニティ・スクール神興東

担 当：早淵 仁美 教授
期 間：平成23年度～平成28年度
場 所：福津市立神興東小学校

子どもたちの健全な生活習慣の形成を目的に、早寝・早起き・朝ご飯と健康状態やお手伝いの状況を調査し、食育の普及を図り、その経過を調査し成果を検証します。また、保護者を対象に食育講演会、子どもたちを対象に食育活動を実践します。

■福津市委員等

- ① 福津市食育推進審議会 会長
担 当：水元 芳 准教授
- ② 福津市環境審議会 学識経験者委員
担 当：山田真知子 教授

連携協定に基づく福津市との連携(学生)

■郷育カレッジ「行ってみよう 福岡女子大学！」

日 程：12月16日(金)
場 所：福岡女子大学

本学学生が企画した郷育カレッジの講座「行ってみよう 福岡女子大学！」を実施しました。当日は、学生による大学紹介やキャンパス案内等を行いました。

福岡市香住丘公民館共催

■そば打ち体験教室

日 程：1月15日(日)
場 所：福岡市香住丘公民館
参加者：21名(留学生17名、日本人学生2名、職員2名)

そば打ちという日本文化を通して、地域の方と留学生が楽しく交流を深めることを目的として、平成23年度から開催しています。今年は、留学生を中心に19名の学生が参加しました。

学生たちにとっては初めてのそば打ちでしたが、福岡そばの会の皆様のご指導のもと、打ち立ての美味しいおそばをつくることができました。



東部地域大学連携の学生活動

福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学は、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的として、平成23年度に連携協定を締結しました。連携の一環として、学生による地域貢献・交流活動も行っています。

■飲酒運転撲滅等キャンペーン

福岡県東警察署等が主催するキャンペーンに、3大学の学生や職員が参加しています。

今年度は次のキャンペーンに参加し、他団体と協力して啓発チラシやグッズ等を配布しながら、飲酒運転撲滅や地域安全を呼びかけました。

日	事業名	場 所	参加者
8月25日(木)	飲酒運転撲滅キャンペーン	イオンモール香椎浜店	学生14名、職員 6名 (うち本学学生3名、職員1名)
12月9日(金)	年末の交通安全・地域安全キャンペーン	イオンモール香椎浜店	学生 7名、職員 6名 (うち本学学生2名、職員1名)



■クリーン大作戦

日 程：2月18日(土)

場 所：福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学周辺の3地域

参加者：学生22名、職員11名、地域の方11名
(うち本学学生4名、職員2名)

日頃からお世話になっている地域の方々や交流し、かつ地域環境美化に貢献することを目的として、三大学周辺の清掃活動を行っています。短い時間ではありますが、大学周辺の廃棄ゴミの状況を知り、参加者にとって考えさせられる機会となりました。



■女子学生のための防犯推進協議会

本協議会は、福岡市東区で増加している性犯罪を防ぐために何かできないかという学生自身の呼びかけで、今年度発足しました。東部地域大学連携の3大学に、九州造形短期大学、福岡工業大学短期大学部を加えた5大学の女子学生で構成され、福岡県東警察署と連携しながら活動しています。

■発会式

日 程：4月23日(土)
場 所：九州産業大学

東区長や東警察署長を始め、地域住民や学生等計160名にご参加いただき、発会式を開催しました。当日は、協議会メンバーの紹介や、協議会会長による宣言、九州産業大学空手道部による寸劇、応援団によるエール等が行われました。

また、発会式終了後はJR香椎駅へ移動し、性犯罪抑止キャンペーン活動として、駅利用者に啓発チラシを配布しました。



■インターネット掲示板利用による性的被害防止キャンペーン

日 程：6月13日(月)
場 所：JR香椎駅

参加者：学生10名、職員7名(うち本学学生2名、職員1名)



福岡県では、インターネット掲示板をきっかけに性的被害にあう女性、特に女子学生が増加していることから、福岡県東警察署から呼びかけがあり、協働でキャンペーンを実施しました。参加者は、通勤・通学中の女性に対し、被害にあわないよう注意を呼びかけました。

■性犯罪抑止スタートダッシュ2017キャンペーン

日 程：1月20日(金)
場 所：JR香椎駅

参加者：学生9名、職員4名(うち本学学生1名、職員1名)

福岡県東警察署管内において、午後6時以降にJR香椎駅周辺で性的被害にあう女子大学生が多いという分析結果があることから、協働して犯罪抑止のキャンペーンを実施しました。参加者は、駅利用者に対し、ご当地ヒーロー等と一緒に啓発グッズを配布しながら、注意を呼びかけました。



地域交流部門

❁ 地域との交流・イベントへの参加

● 香住っ子ひろば

日 時：毎週土曜日 10：00～15：00
場 所：福岡市香住丘公民館他

本学の学生が「香住っ子ひろば」に参加しました。「香住っ子ひろば」は、小学校週5日制導入をきっかけに、土曜日の子どもたちの居場所づくりを目的として、校区有志の方々を中心に設立されたものです。本学からは、寮活動の一環として1年生が中心に参加し、各種活動のサポートを行った他、学生企画の活動も実施しました。小学生とは、最初はお互いに少し距離を置いていましたが、回を重ねるごとに随分仲良くなることができました。



● 香住丘校区防犯パトロール

日 時：毎月第3金曜日 20：00～20：50
場 所：福岡市東区香住丘校区

本学が所在する福岡市東区香住丘校区では、校区の安全のため、毎月第3金曜日に3ルートに分かれ、パトロールを実施しています。本学は、平成24年1月から寮生である1年生を中心に参加しており、平成28年度は寮活動の一つとして取り組み、学生・教職員のべ97名が参加しました。



● なみきスクエアオープニングイベント

日 程：6月4日(土)、5日(日)
場 所：千早並木広場

6月4日(土)にオープンした香椎副都心公共施設「なみきスクエア」のオープニングイベントが開催され、本学の留学生及び1年生が参加しました。これは、福岡市東区から東部地域大学連携に「食の国際交流」をテーマに出店依頼があったものです。

本学からは、1年生が寮活動の一環として取り組み、留学生の指導のもと作成した「スウェーデンのラズベリータルト」、「インドネシアフルーツパイ」、「タイのロールパンケーキ」、「インドのラッシー」を販売し、2日間ともに完売となりました。地域の方々と交流するとともに、入学間もない1年生たちにとって、学生間の交流を深める機会にもなりました。



● 香住丘校区夏まつり

日 程：7月30日(土)
場 所：かしいかえん 大テント

かしいかえんにおいて、香住丘校区の夏まつりが開催され、本学の学生は、受付等に協力、ステージイベントの司会を務めました。

また、香住丘公民館並びに地域の皆様のご厚意により、浴衣の貸出や着付けをしていただき、留学生を含む学生約45名が浴衣姿で参加することができました。心より御礼申し上げます。



● 千早並木グローバルフェスティバル

日 程：10月15日(土)
場 所：千早並木広場

千早駅前前の千早並木広場で「千早並木グローバルフェスティバル」を開催しました。これは、東部地域大学連携の三大学と地域活性化団体「ちはやふるかしい21」が主体となって行っているもので、今年3回目になります。当日は、三大学と九州大学、九州工業大学の日本を含む13か国の学生計200名が参加し、民族舞踊等のステージパフォーマンスや各国料理や伝統工芸を販売するブースが出店されました。

● 香住丘音楽会

日 程：11月26日(土)
場 所：福岡女子大学大会館 大ホール

第18回香住丘音楽会が、初めて本学で開催されました。例年福岡市立東市民センターで行われていましたが、千早への移転に伴い、本学へ会場提供の依頼があったものです。

当日は、本学の学生が受付、誘導、司会等の運営に協力した他、合唱同好会が地域の方々と構成される「WAIWAI合唱団」に参加しました。



● 合唱同好会クリスマスコンサート

日 程：12月18日(日)

場 所：福岡市立老人福祉センター 東香園、香住ヶ丘杜の家

本学合唱同好会が、昨年度に引き続き大学近隣の2施設でクリスマスコンサートを行いました。当日は、クリスマスソングを含む全9曲を披露し、参加者との合唱や交流を楽しみました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた両施設の方々に御礼申し上げます。



♥上記の他、東香園合同発表会への教員の参加、香椎照葉校区イベントへの学生協力などにより地域交流を推進しています。

❁ 本学主催イベント

● 高校生のためのイングリッシュ・キャンプ

日 程：10月8日(土)～10日(月・祝) 2泊3日

場 所：福岡女子大学 講義棟、国際学友寮 などして 他

高校生1、2年生の女子38名が参加し、「高校生のためのイングリッシュ・キャンプ」を開催しました。これは、参加者の英語コミュニケーション能力強化や異文化理解を目的として平成23年度から実施しているもので、今年で6回目となります。

参加者は3日間を通して、本学学術英語プログラム(Academic English Program:AEP)講師による、英語で英語を学ぶ授業を受講しました。1日目は留学生へのインタビューとその要約及び発表を行い、2日目は、3～4人1組の10グループに分かれて、興味のある国とトピックについてポスターを作成しました。3日目に行われたポスタープレゼンテーションでは、各グループとも工夫を凝らした発表が行われ、その後の閉講式で優れたグループと個人が表彰されました。

また、参加者は本学1年生及び留学生が暮らす国際学友寮 などしてこの大広間に宿泊し、料理づくりや英語で行うゲーム等で、学生や留学生との交流を楽しみました。

参加者の各種サポートを行った本学学生や留学生にとっても、高校生が熱心に取り組む姿は刺激となりました。



● ひらめき☆ときめきサイエンス

「ナメクジは賢い!～ナメクジの学習行動と脳の仕組み～」

日 時：7月22日(金) 10:00～16:30

場 所：福岡女子大学 学生実験室

日本学術振興会の小・中・高校生向けプログラム、ひらめき☆ときめきサイエンスに採択され、「ナメクジは賢い!～ナメクジの学習行動と脳の仕組み～」を開催しました。

当日は小学5、6年生を中心に、22名の方にご参加いただきました。

参加者の皆さんは、本プログラム担当の松尾亮太准教授(国際文理学部 環境科学科)からナメクジの脳のはたらきや特徴について学び、教員や大学生の手伝いのもと、ナメクジの学習行動実験や脳の摘出を行いました。

最初はナメクジの解剖を躊躇していた参加者もいましたが、実際に自分の手を動かすことで、実験の楽しさが体験できたようで、「ナメクジが好きになった」「他の動物の神経細胞を取り出してみたい」といった感想をいただきました。

【主なプログラム】

講 義：「ナメクジとその脳のはたらき」

実 習：「ナメクジの学習行動実験」「ナメクジの脳波記録&研究室探訪」
「ナメクジの脳の摘出」



産学官地域連携部門

産学官地域連携部門では、大学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献するため、企業や公的機関との共同研究のサポートや、各種セミナー、技術交流会などの実施によって、産学官連携を推進します。また、一方で、地域企業等からの研究に関連した相談の窓口となっています。

✿ 開催した講演会・セミナー

● 第358回国連講演会「ASEANと日本の関係」

日 時：6月23日(木) 14:40～16:10

場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室2

講 師：藤村 みずほ氏(外務省 アジア大洋州局 地域調整課 事務官)

参加者：74名(学生8名、教職員2名、市民64名)

内容 2015年にASEAN経済共同体が発足し、注目を集めているASEANについて、設立の経緯や歴史、日本との関係、今後の展望等についてお話しいただきました。



● 第1回外部資金獲得セミナー(コンプライアンス・研究倫理教育研修)

日 時：7月28日(木) 14:40～15:50

場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室2

講 師：西 秀雄 公認会計士(新日本有限責任監査法人)

参加者：72名(教職員72名)

内容 文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」及び「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の概要や、他大学・研究機関で起きた不正事例等を参考に、本学での取組や研究活動・研究費執行の際の注意点等についてわかりやすくご説明いただきました。



第1回外部資金獲得セミナーの様子

● 第2回外部資金獲得セミナー

日 時：9月23日(金) 【第1部】14:00～15:10

【第2部】15:10～15:30

場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室2

参加者：32名(教職員32名)

【第1部】講演会「研究を進化させるための科研費獲得の方法(人文・社会系を中心にして)」

講 師：佐賀大学名誉教授 兼 聖徳大学教授 北川 慶子 氏

【第2部】平成29年度科研費公募要領及び執行等について(地域連携班・財務管理班)

内容 第1部の講演会では、「科研費採択に向けた効果的なアプローチ」を共著で上梓された北川慶子氏を講師に迎え、外部資金の申請書を作成する際の心構えやノウハウについてお話しいただきました。

第2部では、事務担当職員から、今年度の事務手続き等の説明を行いました。



第2回外部資金獲得セミナーの様子

● 産学官地域連携セミナー「食と健康を考える2016」

日 時：10月21日（金） 14：20～17：00

場 所：福岡ビジネス創造センター

参加者：55名（学生37名、教職員4名、市民14名）

【講演1】「減塩食品の開発について～辛子めんたいこの取り組み～」

講 師：渡部 朗子 氏（株式会社ふくや 製造・物流部 製造課）

内 容

通常の明太子と同様の味わいや食感を楽しめる「おいしい減塩明太子」を開発するまでの道のりや、将来的に、減塩食品の消費拡大が見込まれること等についてお話しいただきました。

【講演2】「健康的に生きる！転ばぬ先の食事と運動」

講 師：深澤 恵理 氏（独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター 栄養管理室 主任栄養士）

内 容

認知症のスクリーニングテストや片足立ちのロコモチェック等、参加者も実際に体を動かしながら、生活習慣病や認知症予防について理解を深めました。

【パネルディスカッション】「未来の食と健康を考える」

登壇者：深澤 恵理 氏、渡部 朗子 氏、本学学生

内 容

講演1、2の内容を踏まえ、登壇者、学生、一般参加者で意見交換を行いました。



講演の様子



パネルディスカッションの様子

● 第14回福岡女子大学産学官技術交流会

「食でつくる高齢者の健康～高齢者向け食品のこれからを考える～」

日 時：11月25日（金） 14：30～17：30

場 所：福岡女子大学 地域連携センター セミナー室2

主 催：福岡女子大学、福岡県

共 催：九州歯科大学、福岡県立大学、学校法人 中村学園

福岡県バイオ産業拠点推進会議

参加者：87名（学生21名、教職員25名、市民41名）

【講演1】「地方創生と高齢者食への対応等紹介」

九州経済産業局 地域経済部 企画専門官 成清 四男美 氏

【講演2】「高齢者マーケットで成長し続けるクックデリのビジネスモデル」

クックデリ株式会社 代表取締役社長 遠藤 保仁 氏

【講演3】「高齢者を対象とした食品・医薬品研究の紹介等ー脂質の生理効果と高齢者栄養ー」

福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科 中村 強 教授

【講演4】「歯・口と全身の健康を保つためによく噛んで食べる習慣を身につけよう～高齢者の食を選択する力を育んでいくために～」

九州歯科大学 歯学部 口腔保健学科 辻澤 利行 准教授



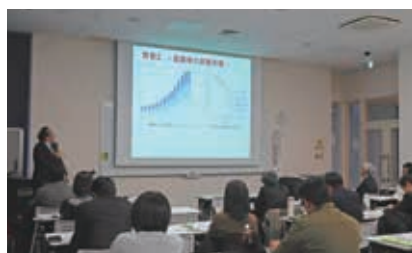
【講演1】の様子

内 容

高齢者の健康を支える「食」について、最新の高齢者食品の開発状況や、今後の需要予測、食習慣のあり方等、産・学・官それぞれの立場からご講演頂きました。



【講演2】の様子



【講演3】の様子



【講演4】の様子

産学官地域連携部門

● 知的財産権セミナー

日 時：3月3日（金）14:40～15:50
場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室2
講 師：吉野 啓作 氏（田邊法律事務所 弁護士）
参加者：30名（教職員30名）

内 容 「実例からみる大学における著作権」をテーマに、実際の判例等を交えながら、具体的な解説をしていただきました。出席者からは、「実例から学ぶスタイルが非常に良かった」「講義等で注意すべきことがわかった」等の感想が寄せられました。



知的財産権セミナーの様子

✿ 参加した展示会

● エコ・ベンチャー・メッセ2016

日 時：10月12日（水）、13日（木）、14日（金）
場 所：西日本総合展示場新館

内 容 「エコ・ベンチャー・メッセ2016」（同時開催：エコテクノ2016）に、本学が出展しました。本学研究者の日頃の研究成果をまとめたパネルを展示し、開催期間を通して166名の方に、本学出展ブースを訪れていただきました。



エコ・ベンチャー・メッセ2016
福岡女子大学出展ブースの様子

✿ その他

● アイランドシティ・アーバンデザインセンター(UDCIC)との連携

内 容 福岡市の先進的なモデル都市であるアイランドシティ（東区香椎照葉）のまちづくり拠点として開設されたUDCICとは、運営委員会、企画会議へ本学教職員が委員として参画するなどして連携を深めてきました。今年度は、国際教養学科中村大輔准教授の研究室との共同研究「女性の社会における活躍推進と持続可能な地域経済に関する研究」において、アイランドシティをフィールドとした調査研究（アンケート調査、ヒアリングワークショップ）にも取り組みました。研究成果を地域へ還元することにより、持続可能な地域づくりの一助となることを期待しています。



ヒアリングワークショップの様子

✿ 連携協定

熊本県立大学と学術連携協定を締結

1月19日(木)に、熊本県立大学において、福岡女子大学と熊本県立大学との日本語・日本文学分野における学術連携協定の調印式が行われました。

この連携協定は、日本語・日本文学の分野で、教育、研究にわたり協力し、学術の発展と人材の育成に寄与することを目的に締結するものです。

この協定を契機に、将来はさらに連携の分野を広げ、学術上の連携だけではなく、両大学の学生相互の交流も推進していきたいと考えています。



調印式の様子

宗像市と包括的連携協定を締結

3月30日(木)に、宗像市役所において、福岡女子大学と宗像市との包括的連携協定の調印式を行います。

この連携協定を締結することによって、本学及び市が有する資源、機能等が効果的に活用され、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与することを目指します。

✿ 共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況

平成29年3月17日現在

種 別	件数	金 額
共同研究	13	5,300,000円
受託研究	7	4,972,978円
寄附金	10	3,600,000円
科学研究費助成事業（日本学術振興会）研究代表者分	35	40,580,000円
科学研究費助成事業（日本学術振興会）研究分担者分	30	12,313,600円
厚生労働科研費 研究分担者分	1	1,000,000円
平成28年度「福岡県スーパー食育スクール事業」	1	963,300円
平成28年度「中小企業経営支援等対策費補助金」（一般財団法人九州産業技術センター）	1	814,232円
平成26年度「高度人材育成のための社会人学び直し大学院プログラム」（文部科学省）	1	9,780,161円
平成27年度「大学教育再生加速プログラム（AP）」（文部科学省）	1	15,722,000円
平成28年度「大学を活用した文化芸術推進事業」（文化庁）	1	17,599,000円
平成28年度「女性リーダー養成事業費補助金」（福岡県）	2	10,739,000円
計	103	123,384,271円

女性生涯学習研究部門

女性生涯学習研究部門では、年間を通して様々な公開講座・講演会を実施しています。性別・年齢を問わず受講できますので、まずはお気軽にお問合せください。

● 公開講座・講演会一覧

事業名称	開催日	教員名	講座数	延べ受講者数
福岡女子大学公開講座	「若手教員による教養講座～知的好奇心への誘い～」 (7/23、10/15、11/26) ① 7月23日(土) 南仏マルセイユの路面電車の歴史～社会史の視点から～ ② 10月15日(土) “歩くこと”の思想～日本近代文学における「散歩」の表象～ ③ 11月26日(土) フィリピンの紛争と平和の行方～平和構築における市民社会と日本の役割～	國府 久郎 准教授 坂口 周 講師 山根 健至 講師	3	80
	「Learning English through Environment, Videos and Medieval Paintings」 (7/23、7/30、8/6) [定員] 先着25名 [対象] TOEIC400点以上もしくはそれと同等の英語力をお持ちの方 ① 7月23日(土) Learning English: Students Developing their own Learning Environment ② 7月30日(土) Learning about English Proverbs through Medieval Paintings ③ 8月 6日(土) Learning English through Video	Wayne Gordon Macpherson 学術英語プログラム講師 Bruno Christiaens 学術英語プログラム講師 Robert Cochrane 学術英語プログラム講師	3	69
	「知の発信2016～福岡女子大学研究紹介～」 (6/4、7/16、11/30、12/17) ① 6月 4日(土) 食の安全・安心を守るためには ② 7月16日(土) 九州・福岡と植民地台湾をめぐるアジア主義～田中一二の足跡～ ③ 11月30日(水) 「遺伝子組換え植物」をつくる技術とその安全性 ④ 12月17日(土) 京都議定書からパリ協定へ～気象変動対策の今～	小林 弘司 講師 宮崎 聖子 教授 大坪 蘭子 助手 岡山 俊直 准教授	4	172
	村上祥子料理研究資料文庫設置記念 特別公開講座 (1/25) ① 1月25日(水) 高齢者「75歳以上」時代の毎日の食事作り 乳製品を食べて免疫力UP	村上 祥子 客員教授 料理研究家・管理栄養士	1	36
	「生涯学習カレッジ2016」 (全13回) ① 5月14日(土) 開講式、福岡女子大美術館でアートにふれる ② 5月25日(水) 「薪能」の鑑賞 ③ 6月11日(土) 色と縞 ④ 6月24日(金) 朝鮮陶工四百年の命脈 (九州市民大学) ⑤ 7月 9日(土) 香椎宮の文化財と香椎造について ⑥ 7月18日(月) 役者を生きる (九州市民大学) ⑦ 7月30日(土) ワインの基礎を学び マリアージュを楽しむ！ ⑧ 8月27日(土) 受講者の皆さんと学長の意見交換会 ⑨ 9月10日(土) 働くことは生きること～逆境が私を育ててくれた～ (九州市民大学) ⑩ 10月 1日(土) モノ言わぬモノにモノ言わずモノづくり ⑪ 10月22日(土) 博多の文化とお菓子 ⑫ 11月12日(土) 博多の食文化と祭り～めんたいこを中心に～ ⑬ 12月 3日(土) 修了式 1年を振り返って	古賀 弥生 (アートサポートふくおか代表) 茂泉 千尋 (九州大学大学院) 大塚 麻里子 (久留米市市民文化振興課) 矢野 英美子 (福岡女子大学同窓会会長) 築城 則子 (染織家・小倉織製作者) 十五代 沈 壽官 (陶芸家) 鍛原 智武 (香椎宮権禰宜) 仲代 達矢 (俳優) シュートル・ニコラ (エー・エス・エス代表取締役社長) 梶山 千里 (福岡女子大学学長) 中国 ミホ (脚本家) 河邊 哲司 (久原本家グループ本社代表取締役社長) 石村 健悟 (石村萬盛堂代表取締役社長) 川原 正孝 (ふくや代表取締役社長) 梶山 千里 (福岡女子大学学長)	13	269*
生涯学習カレッジ	福津市との連携公開講座 (7/23、11/3) 主催：福岡女子大学 共催：福津市 ① 7月23日(土) 親子で楽しむ食べもの実験教室 [対象] 小学5～6年生児童とその保護者 ② 11月 3日(木) 高校生への理系のススメ～科学実験を体験しませんか～ [対象] 高校1～2年生	石川 洋哉 准教授 小林 弘司 講師 濱野 桃子 助手 山内 良子 助手 猪股 伸幸 教授 豊貞 佳奈子 准教授	2	35
	「統計解析ソフトウェアRの勉強会@福岡 #5」 (7/23) 主催：R勉強会@福岡 共催：福岡女子大学地域連携センター ① 7月23日(土) グラフデータベースとR (rneo4j)	本多 啓介 (統計数理研究所) 藤野 友和 (福岡女子大学准教授)	1	10
	東部地域大学連携シンポジウム「超高齢・長寿社会を支える地域力を考える～福岡市東区のケース～」 (3/11) 主催：福岡市 企画運営：福岡女子大学、福岡工業大学、九州産業大学 第一部 調査・研究発表 ① 超高齢・長寿社会の理想と課題 ② 地域力を支える人材の現状と課題 ③ U・R香椎若葉団地における他世代共住によるコミュニティ活性化の取組 第二部 パネルディスカッション	益村 眞知子 (九州産業大学教授) 松藤 賢二郎 (福岡工業大学准教授) 野依 智子 (福岡女子大学教授) コーディネーター 益村 眞知子 (九州産業大学教授) パネリスト 野依 智子 (福岡女子大学教授) 大谷 紗友理 (福岡女子大学学生) 松藤 賢二郎 (福岡工業大学准教授) 益村 眞知子 (九州産業大学教授) コメンテーター 庄山 茂子 (福岡女子大学教授) 堤 清貴 (福岡市東区役所総務部地域支援課長)	1	184
	福岡女子大学特別講演会「日本と韓国の女性作家はいま 三人が語る、書くことのたのしみと作家としての生き方」 (9/22) 共催：福岡女子大学、福岡女子大学同窓会筑紫海会、韓国文学翻訳院	東 直子 (作家、脚本家、歌人) 金 仁淑 (作家) 千 雲寧 (作家)	1	124
講演会				
合 計			29	979

※延べ受講者数は第3回、第6回、第9回を除く

福岡女子大学 公開講座

「若手教員による教養講座～知的好奇心への誘い～」

第1回では、フランスの大都市マルセイユの歴史から、都市公共交通の路面電車がどのような社会的影響を及ぼしたのか考察しました。

第2回では、近現代の文学において、“歩くこと”の新しい文化的意味をどのように表現に組み込んでいったのか、具体的な例を挙げて解説しました。

第3回では、フィリピンの紛争の構造や平和構築への取り組み、そこでの市民社会や日本の役割に焦点をあてて考察しました。



第1回



第2回



第3回

「Learning English through Environment, Videos and Medieval Paintings」

福岡女子大学では、平成24年度から英語能力向上を目指す方向への講座を開催しています。昨年度に引き続き、平成23年度に設置された国際文理学部の特色の一つである、学術英語プログラム（AEP：Academic English Program）の教員が講師を担当しました。



第1回



第2回



第3回

「知の発信2016～福岡女子大学研究紹介～」

第1回では、食の安全・安心についての正しい知識と、食中毒の予防のポイントなどについて紹介しました。

第2回では、明治期に台湾に渡ったジャーナリスト田中一己の足跡を追いながら、台湾における「アジア主義」について考察しました。

第3回では、「遺伝子組換え」と「品種改良」の原理とこれらの違いを明らかにし、その安全性について解説しました。

第4回では、気象変動対策に関するパリ協定が合意された経緯と、日本や世界がどのような目標を掲げているのかについて解説しました。



第1回



第2回



第3回



第4回



村上祥子料理研究資料文庫設置記念

「高齢者『75歳以上』時代の毎日の食事作り 乳製品を食べて免疫力UP」

平成28年4月、本学卒業生の料理研究家、村上祥子氏から、氏が長年の活動を通して発案、収集されたレシピなど約2200冊分に及ぶ資料の寄贈を受け、本学図書館内に「村上祥子料理研究資料文庫」を設置しました。これを記念して平成29年1月25日（水）に特別公開講座を開催しました。

女性生涯学習研究部門

福岡女子大学 女性トップリダー育成研修

日 時：第1回 平成29年2月2日(木)～平成29年2月4日(土) 2泊3日宿泊研修

第2回 平成29年3月9日(木) 日帰りフォローアップ研修

場 所：ホテルオークラ福岡

定 員：20名

福岡女子大学女性トップリダー育成研修とは、主に上級管理職の女性を対象とした、トップリダーとして必要な素養を身につけネットワークを構築し、さらに上の階層を目指すための研修です。

女性トップリダーとして成長するための「志」「教養」「感性」「行動」「ネットワーク」をプログラムの軸として、講演やワークショップ、グループディスカッションによる研修を実施しました。受講者は「女性トップリダーとしての本質的な心構え」に重点をおいて集中的に学び、また今後トップリダーとして取り組みたい課題について考察しました。



北城格太郎氏講演
「企業改革とリーダーシップ」～多様性を活かす経営～



鷲田清一氏講演
「トップリダーが持つべき人間性」



ワークショップ「リーダーとして
信頼感を与える魅せ方とエレガンス」



ワークショップ
「ハーマンモデルによる自己分析」



篠原俊氏講演「会計倫理の視座」



龍造寺健介氏講演
「トップリダーとしての役割と実践」



地元経済界トップとの意見交換会
(夕食会)



トークセッション
「組織の中で心がけたこと」



ペアワーク
「自らの志を遂げる行動について」



久保田勇夫氏講演
「トップリダーとしてのリーダーシップ論」



梶山千里学長講演
「トップリダーと感性」



受講者全員によるプレゼンテーション
「私の志を実現するためのアクションプラン」

福岡女子大学・福岡女子大学同窓会筑紫海会

福岡女子大学特別講演会

福岡女子大学と本学同窓会筑紫海会（つくしみかい）では、平成24年度より、多くの女性のロールモデルとなるような、国内外で活躍する女性リーダーを招聘した特別講演会を開催しています。



東 直子さん



金仁淑さん



千雲寧さん

「日本と韓国の女性作家はいま 三人が語る、書くことのたのしみと作家としての生き方」

平成28年9月22日（木）に、アクロス福岡にて、平成28年度特別講演会「日本と韓国の女性作家はいま 三人が語る、書くことのたのしみと作家としての生き方」を開催しました。

今年度は福岡女子大学、福岡女子大学同窓会筑紫海会、韓国文学翻訳院の共催で日本と韓国の小説家によるトークイベントとして開催しました。講師は日本で小説家、歌人、脚本家として活躍中の東直子さん、韓国で小説家として活躍中の金仁淑（キム・インスク）さん、千雲寧（チョン・ウニョン）さん。作家を目指したきっかけや、作品にこめた想いなどをそれぞれ語っていただきました。また、ご本人による小説の朗読やサイン会も行われました。

参加者からは、「家族のことや時代背景など作品の原点となるようなエピソードを聞くことができ、感銘を受けた」、「韓国の作家の方のお話を聞くチャンスはなかなかないので、とても興味深く聞きました」等の声を多数いただき、盛況を博して終了いたしました。

参加された皆様に、心より感謝申し上げます。



講演の様子

生涯学習カレッジ2016

生涯学習カレッジは、受講者と大学が共に学ぶアクティブな学習の場で、平成27年度にスタートしました。昨年に引き続き、「感性」を学習の柱とした全13回のシリーズで、前半は『文化芸術と地域の歴史』、後半は『食文化』をテーマに開催しました。

参加した受講生の皆さんからは、「日頃学べないこと、見学できないところなどに行けて充実した一年だった」、「多方面に渡って活躍中の講師のお話を聞く機会を得て、学ぶ喜びを実感できた」といった感想をいただき、大変有意義なカレッジとなりました。



第1回「開講式」福岡女子大美術館アートにふれる



第3回「色と縞」



第5回「香椎宮の文化財と香椎造について」



第7回「ワインの基礎を学びマリアージュを楽しむ！」



第8回「受講者の皆さんと学長の意見交換会」



第10回「モノ言わぬモノにモノ言わすモノづくり」



第11回「博多の文化とお菓子」



第12回「博多の食文化と祭り～めんたいこを中心に～」



第13回「修了式」一年を振り返って

福岡女子大学基金

学術研究助成金

福岡女子大学では、福岡女子大学学生・卒業生による研究に対し、1件5万円の学術研究助成金を交付しています（公募枠）。また、修士・博士課程2年生で、各コース、各領域の推薦を受けた学生に対しても、1件3万円（各コース、各領域1名）の助成金を交付しています（推薦枠）。募集期間は、毎年5月1日～5月31日です。ご興味をお持ちの方は、福岡女子大学または地域連携センターのホームページ等でご確認ください。

平成28年度の交付について

<公募枠学術研究助成金>

審査の結果、次の2件の研究に対し、助成金を交付しました。

青才 和美（福岡女子大学 家政学部食物学専攻 卒業）

「誰かが誰かの助っ人になって地域を元気にする研究～地域に眠る資源やシニアの労働力を活かす～」

藤野 夏海（福岡女子大学大学院 人文社会科学研究科社会科学専攻国際産業社会コース1年）

「持続可能な地域づくりについての研究—3つのサブシステムからとらえた分析—」

<推薦枠学術研究助成金>

各専攻から次の4件の推薦があり、審査の結果、この研究に対し助成金を交付しました。

（言語文化専攻英語圏言語文化コース、社会科学専攻国際産業社会コース及び国際関係コースは該当者なしのため交付はありません。）

小林 奈央（福岡女子大学大学院 人文社会科学研究科言語文化専攻日本語文化コース2年）

「谷崎潤一郎作品における身体表象としてのピュグマリオンズム」

浜田 萌衣（福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科人間環境科学専攻環境自然科学領域2年）

「幹線道路周辺におけるPM2.5の物理・化学的性状特性と拡散及び沈着評価」

沖邊 敦代（福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科人間環境科学専攻栄養健康科学領域2年）

「プロアテーゼおよびプロテアーゼインヒビターを用いたエビのテクスチャーの改変」

甲斐 愛梨（福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科人間環境科学専攻環境マネジメント領域2年）

「条件光を用いたヒトの生体リズムに関わる受光器特性の解明」

福岡女子大学 平成29年度公開講座のご案内

福岡女子大学では、地域の皆さまの生涯的な学習に貢献するため、毎年、様々な公開講座を企画実施しています。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお申し込みください。

★「How to Learn English Effectively」

福岡女子大学の学部生1～2年生が履修する英語力習得のためのAcademic English Programを担当する専任講師による英語講座です。

受講料：各回500円（3回分まとめて申込の場合は1,000円）※高校生・本学学生無料

定員：30名（先着）

対象：TOEIC 400点以上もしくはそれと同等以上の英語力をお持ちの方

講座番号	日程	テーマ	概要	講師
A-1	6/10(土) 10:00～11:30	Learning English through Literature	In 3 lectures, each AEP instructor will each explain one facet of how people can improve their daily English learning skills. As most of the lectures will be given in English, participants are required to have intermediate English comprehension skills.	大谷 英理果 (AEP instructor・学術英語専任講師)
A-2	6/17(土) 10:00～11:30	Learning English through Extensive Reading		Arina BRYLKO (AEP instructor・学術英語専任講師)
A-3	6/24(土) 10:00～11:30	Learning English through Confident Speaking		Timothy PRITCHARD (AEP instructor・学術英語専任講師)

★「エネルギー政策と原子力の危機管理」 受講料：500円 ※高校生・本学学生無料

講座番号	日程	概要	講師
B	7/28(金) 13:30～15:00	本講座では、福島原発事故の現場を踏まえて、日本のエネルギー問題の今後について考えていきます。	藤岡 祐一 (環境科学科教授)

★「充実した暮らしをサポートするまちづくり：有機的な地域システムとは」 受講料：500円 ※高校生・本学学生無料

講座番号	日程	概要	講師
C	9/2(土) 10:00～11:30	本講座では、将来に向けた様々な課題を背景に踏まえながら、1人ひとりが生きがいをもって暮らすことのできるまちづくりについて、一緒に考えていきます。	中村 大輔 (国際教養学科准教授)

★「ドイツ映画Ⅲ：移住背景を持つ監督の映画」

最近、ドイツの難民の受け入れが話題になり、異文化圏の難民・移住民がドイツ社会に適合できるかと疑問視されています。そこで、本講座では、移住背景を持つ監督のドイツ映画を通して、移住民の現状や問題、ドイツ文化への貢献について考えていきます。

受講料：各回500円（4回分まとめて申込の場合は1,500円）※高校生・本学学生無料

講座番号	日程	テーマ	概要	講師
D-1	9/29(金) 16:30～18:00	第1回「ドイツの移住民」	ファティ・アキン監督：『愛より強く』（2004年） 解説と映画鑑賞	Sven Holst (国際教養学科准教授)
D-2	10/6(金) 16:30～18:00	第2回「移住民についての映画、移住民よりの映画」	ファティ・アキン監督：『そして、私たちは愛に帰る』（2007年）解説と映画鑑賞	
D-3	10/13(金) 16:30～18:00	第3回「移住民の文化貢献」	ファティ・アキン監督：『ソウル・キッチン』（2009年）解説と映画鑑賞	
D-4	10/20(金) 16:30～18:00	第4回「移住国ドイツはこれからどうなる」	ヤセミン・サムデレリ監督：『おじいちゃんの里帰り』（2011年）解説と映画鑑賞	

★「韓国の裁判制度における『司法の反日化』という現象」 受講料：500円 ※高校生・本学学生無料

講座番号	日程	概要	講師
E	平成30年 2/17(土) 13:30～15:00	慰安婦や領土問題などで韓国政府が「反日化」へと傾斜した主な要因としては、韓国の裁判所による司法的な影響があるといわれています。今回は、韓国における司法の役割とその問題性を明らかにします。	岡 克彦 (国際教養学科教授)

備 考

- *性別・年齢を問わず受講できます。
- *各回申込とするか、まとめて申し込みとするかは、申込み時にお知らせください。まとめて申込の受講料のお支払いは、シリーズの初回のみ受け付けします。（最終回での割引額返還等はいたしません。）
- *会場は、A講座は福岡女子大学研究棟L教室、B～E講座は福岡女子大学地域連携センターを予定していますが、変更になる場合があります。
- *学内には駐車場が十分にございませんので、恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。
- *悪天候等により、講座日時が変更になる場合があります。詳細はお電話等でお問い合わせください。
- わせいただくか、ホームページをご確認ください。
- *講師や他の受講生に迷惑となるような行為、講座の進行を妨げるような行為を行った場合、受講をお断りすることがあります。このような場合でも、納入された受講料は返還いたしません。
- *講座中の傷病については、本学として責任を負いかねる場合がありますので、お体の不調や異常を感じた時は参加を見合わせるなど、自己の責任において健康管理に十分ご注意ください。
- *講座中の盗難、通学途中の傷病、その他の事故について、本学は一切責任を負いません。

申込方法

- *E-mail、Fax、ハガキのいずれかに、①希望講座番号、②氏名（フリガナ）、③住所、④電話番号、⑤年齢、⑥Fax番号（Fax申込の方）をご記入の上、地域連携センターまでお申し込みください。お電話でも受け付けております。
- *受講証は発行しておりません。また、定員のある講座のみ参加可否をお知らせしています。（定員のない講座は申込いただいた方全員が参加できます）

●センター内託児室にて、託児サービスを行っています（業者委託／先着5名・無料）。利用を希望される方は、講座開催日の10日前（土日祝除く）までに、直接委託先へお電話ください。費用は大学が負担します。

（委託先）(株) テノ・サポート
〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10
フリーダイヤル 0120-8000-29（受付時間：平日9時～19時）

■お申込み・お問い合わせ 福岡女子大学 地域連携センター 〒813-8529 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

TEL：092-661-2728（直通）／ 092-661-2411（代表） Fax：092-692-3220
E-mail：rcle@fwu.ac.jp URL：http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

★ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、地域連携センターからのご案内等に使用させていただきます。他の目的には使用いたしません。

【発行】福岡女子大学地域連携センター